

サステナビリティ担当役員メッセージ

JSRにとってのサステナビリティは、「止めない責任」と「進化する責任」の両立です



上席執行役員 サステナビリティ担当

吉本 豊

素材を通じて多様な産業の基盤を支えるJSRには、お客さまに必要な材料を安定的に供給し続ける「止めない責任」と、気候変動、資源制約、人権、人的資本、ガバナンスなどの課題に向き合い、事業そのものを変革する「進化する責任」があります。

サステナビリティ担当として、私はこの二つの責任を果たすことこそ、JSRが社会に提供すべき価値を問い直し、より確かなものにしていく取り組みだと考えています。本報告書では、現行の中期経営計画のもとで進めるサステナビリティの考え方と取り組みを体系的にお示しし、当社の現在地と今後の変革の方向性を、ステークホルダーの皆さまと共有します。

まず、「止めない責任」です。特に近年の地政学リスクの高まりは、エネルギー・原材料の供給網に大きな不確実性をもたらしています。石油化学製品由来の原材料を多く扱う当社にとって、安定調達は事業継続のみならず、お客さまへの供給責任に直結する重要課題です。サステナビリティは環境・社会課題への対応にとどまらず、事業の継続性とレジリエンスを支える経営の根幹でもあります。

当社は、社長をトップとして、原料調達、事業、研究開発、

海外拠点などが一体となってリスクを把握し、対応を進める体制を整えています。お客さま、サプライヤー、行政機関をはじめとする関係者の皆さまとの連携も深めながら、強靱なサプライチェーンの維持に努め、世界のお客さまへ責任をもって材料をお届けしてまいります。不確実性が続く時代だからこそ、平時から備えを磨き、変化に迅速かつ柔軟に対応できる体制をさらに強化していきます。

一方、「進化する責任」においては、現行の中期経営計画の実行にあわせ、経営にとっての重要課題であるマテリアリティを6つの要素に体系化し、2029年度を見据えた目標を設定しました。サステナビリティを理念にとどめず、経営に組み込み、進捗を確認しながら継続的な改善につなげていきます。技術と人の力を結集し、持続的な企業価値の向上を目指します。

JSRは、「止めない責任」を確実に果たしながら、「進化する責任」を果たすべく自らを変革していきます。事業の強靱さと持続可能な成長を両立させ、社会から信頼され、未来に必要とされる企業であり続けるために、着実かつ力強く前進してまいります。